



誠・力・光

令和3年3月15日
練馬区立北町中学校
学校だより 11号

新たな道に向かって

校長 中嶋 雅彦

校長室のドアがノックされ、3年生が入ってきます。「おかげさまで、〇〇高校へ進学することが決まりました。・・・」という報告です。緊張した面持ちの中に笑顔が浮かんでいるのがわかると私もうれしい気持ちでいっぱいになります。3月2日に都立高等学校の合格発表が行われました。1月22日の私立高校推薦入試から始まった高校1次試験も終わりを迎えました。本年度はどの生徒にも我慢を強いる1年間となってしまいました。特に3年生は最上級生としての自覚をもち、下級生のお手本となり、自らの進路も切り開いていかなければならない1年間でした。この例年にはない重圧の中で、先程の報告を生徒から聞くことができ、心から喜びを感じる瞬間となりました。どの生徒にもその苦勞を勞う言葉をかけずにはられませんでした。

3学年委員会の後期活動目標は「有終の美を飾る ・ 伝統の継承 ・ 下級生の模範となる行動 ・ 卒業までの時間の充実」です。有終の美という言葉には諸説あるようですが、中国最古の詩集といわれる「詩経」に、その一節があります。「初めあらざるなし、よく終わること少なし」という詩の一節から有終の美が由来しているとのこと。人は何か事を始めるが、最後までやり通すということは難しいことである。困難に立ち向かい最後までやり遂げること、そのすばらしさを表現した言葉です。私も生徒が学校生活で、本年度の目標としたことや1年間やり通そうと努力していることをこの3月においても最後まで、自らの努力をあきらめず「有終の美」を飾って欲しいと願っています。そして、その成果を次のステップの礎として、進級した学級でそして新しい進路で、その花を大きく開かせて欲しいものです。3年生は3月19日の卒業証書授与式まで1、2年生は3月25日の終了式までの短い期間をこの学級、この学年、この学校でよい思い出として記憶に残してもらいたいと思います。

3月は21日まで緊急事態宣言が延長されました。しかし、年度末ということもあり、卒業証書授与式はもちろん学年を超えて行われる専門委員会や保護者会など実施することとなります。十分に感染症予防対策を行って実施をいたします。保護者の皆様も時間や人数などの制限にご理解をいただき参加いただけますようお願い申し上げます。

緊急事態宣言で始まり、緊急事態宣言で終わる令和2年度となりました。子どもたちの学習の充実、予防感染症予防、心のケアなど保護者、地域の皆様には、たくさんのご負担をおかけしました。そして、北町中学校を支えてくれたことに心から感謝申し上げます。4月から始まる子どもたちの生活も輝くものとなるために周りにいる多くの大人が協力して支援をおこころができるよう本校も教職員一丸となり取り組んでまいります。新年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

思い出づくり

まだまだ緊急事態宣言が続いていますが、感染対策をしながら3年生は思い出づくりの行事を行いました。行事がほぼ中止となり、「このコロナ禍では、しょうがない。」と理解しつつも、割り切れない気持ちがずっとモヤモヤしていたことでしょう。

北町ラリー、バーチャル修学旅行、雅楽体験、北町オリンピックと久しぶりに楽しそうに、そして真剣に取り組んでいました。更に、NEO合唱コンクールが控えています。つらいこと・苦しいことだけでなく、仲間とのつながりの大切さを改めて感じ、巣立つ準備ができました。これからも、たくさんの壁を乗り越えて成長してください。



表彰

- ・朝ごはんコンクール 銅賞・校長賞

3年3組 藤村 昇輝

- ・練馬区教育委員会生徒表彰

1年1組 栗原 樹

3年2組 佐藤 雄大

- ・体育優良生徒表彰

体育・スポーツ活動において秀でた技術を有し、学業が優秀で学習態度が良く、他の生徒の模範となる生徒に送られます。

3年2組 津村 昌良

3年3組 足立 七夕

- ・産業教育振興奨励賞表彰

将来の産業教育の発展に関わる進路を決め、学習においても意欲をもって取り組んだ生徒に送られます。

3年1組 嶋野 友南

3年2組 佐藤 雄大

職員・在校生で作成しました



3年生、
これからも頑張って
ください。